



理想の光明

(りそうのひかり)

学年主任より

「前進」～新年度に向けて！

学年主任 渡部正一

136期は、「自主自律～『当たり前』の継続～」を学年モットーに掲げ、スタートを切りました。最大のポイントは、「自立」ではなく、「自律」という点です。いかに自分を律するか。保護者、教員、先輩などがいなくて、誰も見ていないとき、自分で、自分たちで考え、判断し、行動する。易きに流れず、流されず、踏ん張る。

毎日の生活がチャンス。予習、授業、復習、探究、小テスト、定期考査、実力テスト、清掃、スマートフォンのマナー、服装。迷ったら厳しい方を選ぶ(ように努める)。他校に比べれば、校則は極めて少ない。グレーゾーンが大きい。それは皆さんへの期待と信頼の表れです。

安積高校には、勉強しているのが当たり前の環境があります。それを利用し、さらによりよい環境づくり、雰囲気づくりに貢献し、切磋琢磨する。それが安積高校です。

年度末には、SS情報の授業で、「136期自己プランニングシート」を使って受験情報を集めました。大学・学部調べをしたことを土台にモチベーションを上げ、日々の学習につなげよう。

前号で触れた、私の生活時間の見直しは、オーバーワークで体調を崩し一時中断。改善を加え、何とか継続中です。

上手いかないこともあります。社会に出たら、その方が多いかもしれません。そのための準備段階として、この安積高校の3年間で、自分を、自分たちを鍛え、磨いて欲しいと思います。

生徒指導部より

高校入試の期間や春休み中に「休み癖」「怠け癖」がついてしまっている人はいませんか？ 2年生になる「自覚」と「心構え」はできていますか？ 「春」は高校生の学力が下がる時期だそうです。「学力」は、「気持ち」に伴ってついていきます。「気持ち」が何よりも重要です。

4月からは、皆さんもいよいよ2年生です。「気合い」を入れて、「やる気」を高め、「本気」で「根気」強く、勉強や様々な活動に取り組む覚悟を決めましょう！！

新学年のスタートに向けて、以下の点について反省し、改善してください。

- ①生活のリズムを整える。体調を崩さないこと。
- ②遅刻をしない。8:15登校です。時間に余裕を持って行動すること。
- ③事件や事故を起こさない、巻き込まれない。特に、自転車の事故が多いので、十分に注意する。
- ④自家用車で送迎については、他の交通の妨げにならぬように配慮する。
- ⑤服装と携帯電話(スマホ)に関するルールを守る。

例えば、

・女子の短いスカート、ジャージで授業を受けるのは、「学校」という学びの場にふさわしいことなのか？

・バレなければいいとこっそり携帯(スマホ)を使う、帰りのSHR終了後は掃除よりも携帯電話(スマホ)チェックを優先する……これらは適切な行為と言えるのか？

厳しく「自問自答」してほしい。

☆4月の予定☆

8日(木)	着任式・始業式・入学式
9日(金)	確認テスト・対面式
12日(月)	身体測定・新入生歓迎会
15日(木)	委員会編成
16日(金)	部編成
17日(土)	紫正会
24日(土)	PTA総会
26日(月)	代休
30日(金)	生徒総会

離任式「感謝！」

今日は、離任式です。本来であれば、直接離任される先生方からお話を伺うはずですが、コロナ禍においてそれがかなわず、非常に残念です。放送をしっかりと聴き、配付される用紙に記された離任される先生方からの熱いメッセージを受け止めてください。

また、今日は、新クラス発表の日です。入学から一年間を共に過ごしたクラスを離れる日でもあります。これまでお世話になった担任の先生やクラスの仲間にも感謝を伝えましょう！

探究部より

今年一年間を通して、「探究」の時間では、通常の授業や、教科書、問題集からは得ることのできない「体験」や「実践」を通しての貴重な学びの数々があったのではないだろうか？

安積高校は、現在、文部科学省から「SSH」(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受けている。改めて確認すると、「SSH」では、「先進的な理数教育」の実施や「国際性を育む」ための取り組みを通して、「創造性」や「独創性」を高める教育が求められる。136期生は、「探究」の時間に加えて、安積高校が「SSH」であるところの恩恵を受けることが可能である。全国、いや世界規模の学びの機会を皆さんに提供することができる。

「SSH」は理型の取り組みであり、文型には関係がないと思っている人もいるかもしれない。そんなことはない。「探究」と「SSH」の学びや取り組みを通して身につけることのできる「論理的な思考力」「多面的で多角的な物の見方」「表現力や発信力」は、文型理型を問わず、学問を志す全ての人間に必要な不可欠な要素である。「これらの要素がしっかりと身についた結果、自ずと学力が向上し、生徒達は、希望の進路を実現することができている。」とは、本校と同じ「SSH」の指定を受けている福島高校の先生のお話である。「何よりも学習への意欲が向上する」ということをおっしゃっていた。

皆さんの前には、「希望の未来」が待つ。未来は、予測不可能だが、その分「無限の可能性」を持つ。好きな仕事に就くために、好きなことを学ぶために、好きなことを探すために、皆さんは様々な目的で大学に進む。もちろん、その大学に合格するためには、勉強しなければならない。しかし、本当の学びは、受験勉強ではない。受験勉強のそのもっと先にある本当の学びの力を、ほんの少しでもいい、「探究」の時間や「SSH」の取り組みを通して知ってもらいたい。「知」の世界に誘われ、「学問」することがどんなに面白く、素晴らしいことであるかを、136期生に伝えたい。

このせっかくの最大最高の機会を逃さず、しっかりと生かし、2年生になっても「探究II」、そして様々な「SSH」関連の事業に、皆さんが積極的に取り組んでくれることを期待する。

「共通テスト」とは

卒業した3年生が受験した「共通テスト」は、これまでの「センター試験」に変わるものとして導入された。コロナ禍において、初めて実施された「共通テスト」に対し、多くの受験生が大きな不安に陥ったであろう。

「共通テスト」は、受験の最初の関門である。この関門を最高の状態で突破することが求められる。そこで、5教科の先生方から、「共通テスト」について、136期生にアドバイスをいただいた。

「理科」と「地歴公民科」の先生からのアドバイスは、次号に掲載する。

☆国語科☆

本来、「共通テスト」は、これまでの「センター試験」の良いところは残すと言っていたので、問題自体の難易度はさほど変わらず、むしろ解きやすくなったところもある。しかし、始まったばかりのものなので、今後変わっていく可能性があり、難易度や出題内容ともに、次年度以降が今年と同程度だと油断はできない。

まずは古文漢文から解き始めて、いかにはやく解き終わり、現代文の問題に移れるかが勝負だ。古文漢文をすばやく読解し、確実に得点するためには、基礎力を徹底して強化するしかない。

現代文は、従来通りの課題文の他に、「+α」として、①表やグラフ、新聞記事、生徒の会話、生徒がまとめたノートなど、様々な資料、②別の評論や小説、韻文(短歌や俳句、詩、古典の和歌や漢詩なども含む)など、課題文とは異なる別テキスト、などが提示される。課題文の読解に加え、上記「+α」を読解し、課題文と比較した上で解答を導き出すような問題が出題されるため、現代文の解答にはこれまで以上に時間がかかる。

従って、現代文の解答に時間を割くためにも、古文漢文をスピーディーに読みこなすことが不可欠なのである。現代文については、ニュースや新聞を通して、社会で起きている出来事を理解し、関心を持ち、自分の意見を持つことに努めてほしい。また、様々な文章に読み慣れておくことも重要である。

☆数学科☆

共通テスト数学I Aにおいては、試験時間の増加により分量が増加したが、昨年度のセンター試験よりは易化したといえる。出題範囲も数学Iと数学Aの教科書のほぼ全分野からの出題であった。したがって、教科書の内容の完全理解が重要である。

数学に苦手意識を持っている場合は、教科書の例、例題、応用例題をこの春休みを利用して復習することが重要であり、春休みの課題はそれらの復習に役立つため、大いに活用して欲しい。また、数学が得意な生徒は、チャートを活用して応用力を身につけて欲しい。

2年生からの学習における数学II、数学Bの攻略が極めて重要になってくるため、この春休みを活用して、予習もすすめて欲しい。数学IIBが勝負です！！

☆英語科☆

全大問で読解型の新形式となり、センター試験から大幅にその姿をかえた。今までにあった発音アクセント、文法、並び替えなどがなくなり、すべて読解問題となった。読解量が大幅に増加し(約2800語→約4200語)、素早く多面的に情報を処理する力が求められた。

難易度は平年並みであった。安高生であれば十分対応できる範囲である。その先の国公立二次試験の形式で難易度は変わっている訳ではないので、小手先の力ではなく、確固たる英語力をつけなければ太刀打ちできない。

136期英語科としては、2学年が英語学力向上の要と考え、3年次には応用問題に対応できる力を身につけるべく邁進する。